

【平成 26 年 6 月 町長あいさつ】

開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、平成 26 年 6 月市川三郷町議会第 2 回定例会を招集致しましたところ、議員各位におかれましては、ご多用の中、ご出席を賜り、ここに定例会が開会できますことに、厚くお礼を申し上げます。

また、平素、町行政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに、併せて感謝を申し上げます。

はじめに、内田利明議長におかれましては、平成 26 年 4 月 22 日付けで、山梨県町村議会議長会第 63 代会長へのご就任おめでとうございます。市川三郷町にとっては、初めての会長就任であり、町として心からお祝い申し上げます。ご就任後は、多忙を極めることと思いますが、誠実で常に議会人としての研鑽に裏打ちされた理念と、真摯な姿勢の内田議長には、市川三郷町議会はもとより、山梨県町村議会の発展のため、会長としてお尽くしいただきたいと思います。

次に、市川三郷町の交通死亡事故連続ゼロについてですが、3 年前の平成 23 年 4 月 5 日に死亡事故連続ゼロ 900 日を達成し、県警本部長表彰を受けました。その 38 日後の 5 月 13 日、三珠地区矢作地内の農道で、交通死亡事故が発生し、連続ゼロが途切れしました。翌日の平成 23 年 5 月 14 日から、昨年、平成 25 年 10 月 30 日で死亡事故連続ゼロ 900 日を達成、本年、平成 26 年 2 月 6 日に連続ゼロ 1000 日を達成しました。900 日達成で県警本部長表彰、1000 日達成で山梨県知事表彰を受けました。先月、5 月 17 日に連続ゼロ 1100 日を達成しております。人口 1 万人以上の市、町で、市川三郷町が最長の交通死亡事故連続ゼロを続けております。1200 日達成は、8 月 25 日となります。

なお、人口 1 万人未満では、忍野村が 5 月 26 日に、17 年間死亡事故ゼロ、6000 日を達成しております。

民間研究機関「日本創成会議」が 5 月 8 日に発表し、5 月 9 日には、全国紙、地方紙ともトップ記事で報道されました、2040 年の 20 代から 30 代の若年女性人口変化率ですが、2010 年比で、人口移動に歯止めがかからない場合の推計値での減少率の、山梨県 27 市町村の順位、および全国の順位では、山梨県では早川町が -82%、全国で 23 位、身延町が -75.8%、全国で 66 位、南部町が -71.5%、全国で 134

位、次に、大月市 -71.4%、丹波山村 -66.4%、上野原市 -63.8%、富士吉田市 -58.1%、山梨市 -56.4%。山梨県の9位に富士川町 -55.7%、全国で673位、小菅村 55.6%、675位、甲州市 -55.2%、北杜市 -55.1%、山中湖村 -53.2%、市川三郷町が山梨県で14位、-52.7%、全国で786位、次が道志村、-50.8%、韮崎市 -50.7%、27市町村のうち16市町村で -50%以上半減となっております。

国立社会保障人口問題研究所発表の、2040年推計値も、5年に1度実施されます国勢調査の集計結果速報値から、人口減少率で同傾向を示しており、かつて経験をしたことのない急激な人口減少時代に入ることを試算しております。

高齢化率というより、絶対数の変化でありますので、戦略的政策立案がもっとも重要となります。

本日、ご提案申し上げます案件は、承認9件、条例改正1件、平成26年度一般会計補正予算1件、平成26年度特別会計補正予算7件、その他1件の、合わせて19案件であります。

それでは、報告事項の説明を申し上げます。